

地域と学ど ^②

山形大学地域教育文化学部

着任以来6年間、地域と共にできる教育や研究活動を模索してきました。幸い、地元山形での多くの人々との出会いが、その支えとなり学生への教育や指導に大きく役立っています。

現在、私は山形の子どもを心身ともにより健やかに、より豊かに育てることを目標とした活動に取り組んでいます。一つは、村山地区の総合型地域スポーツクラブと連携した主に小学生を対象としたスポーツや運動指導、もう一つは長井市の幼児を対象とした運動遊び（通称・ながいアクティブキッズプロジェクト）の指導です。

これらの活動は、各スポーツクラブ、保育施設、学校、大学、行政との緊密な

身体教育学、教科教育学 鈴木 和弘 教授

連携なしにはできないこと
です。そして、保護者、保
育者や小学校の先生、学生
たちがそれを支える担い手
となっています。特に教職
を志す学生にとって、学外
に出て多くの子どもたちや
先生方、保護者の方々との
出会いは、大きな財産とな
っています。特に教職
の理念を理解していても、
それを担う人が変わってい
くことは決して容易ではあ
りません。なぜなら、活動
の継続は、5年目に
入りました。幼児たちの変
化には目を見張るものがあ
ります。
こんな感想を先生方から
頂戴しました。「子どもた
ちの挑戦しよう！という気
持ちは伝わってきます。遊
びにもスピード感が出て、

心身とも 健やか豊かに養育

▽1954年生まれ、山形市
出身。山形大着任は2012年。



「ながいアクティブキッズプロジェクト」で
体を動かす子どもたち

より楽しく遊び込むようになり
ました」「体を使い十分な運動をすることで、以前にも増して、よく食べよく眠り規律正しい生活リズムが出てきたように感じます」「大好きな山大生のみなさんの指導では、普段以上の集中力で臨んだ子どもたち。ボール投げの記録も伸び、ダンスも楽しくできました」
歩みを止めることなく、山形の子どもの成長を見守り、活動していきたいと思っています。

11月1回掲載します